



2021年5月26日

## 2021年3月期決算のお知らせ

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：助川 龍二）  
の2021年3月期決算について、添付資料のとおりお知らせします。

### 【添付資料】

- 2020年度決算のポイント
- 2021年3月期 決算短信（非連結）

## 2020年度決算のポイント

元受正味保険料は、自賠責保険が保険料率引き下げの影響等により減収したものの、自動車保険や火災保険、新種保険の増収により対前年同期比で11億円増収、正味収入保険料は、自賠責保険の影響等により対前年同期比2億円増収の1,669億円となりました。

一方、正味支払保険金（含む損害調査費）は、自然災害や自動車保険、傷害保険等の支払の減少等により、対前年同期比26億円減少の987億円となりました。

この結果、正味収入保険料から正味支払保険金、正味事業費を除いた収支残は、対前年同期比15億円増加の45億円となりました。

保険引受損益は、今後の自然災害の発生に備え、異常危険準備金の追加積立を実施したこと等により、対前年同期比9億円増加し、3億円となりました。

資産運用損益は、利息及び配当金収入の増加や有価証券評価損の減少等により、対前年同期比で6億円増加の58億円となりました。

以上の結果、最終の当期純損益は、対前年同期比で14億円増益の36億31百万円となりました。

### 主要業績・諸指標等

○**元受正味保険料**は、自賠責保険で減収したものの、自動車保険や火災保険、新種保険の増収により、1,854億円（対前年同期比+11億円）、**正味収入保険料**は、1,669億円（対前年同期比+2億円）となりました。

○**正味支払保険金**（含む損害調査費）は、自然災害の支払が減少したこと等により、987億円（対前年同期比△26億円）となり、**正味損害率**は、59.2%（対前年同期比1.7%ポイント改善）となりました。

○**正味事業費**は、元受正味保険料の増収に伴う代理店手数料の増加等により、636億円（対前年同期比+13億円）となり、**正味事業費率**（事業費の正味収入保険料に対する割合）は38.1%（対前年同期比0.7%ポイントの上昇）となりました。

○**コンバインド・レシオ**（正味損害率と正味事業費率の合計）は、97.3%（対前年同期比0.9%ポイント改善）となりました。

○**保険引受損益**は、収支残が増加したものの、今後の自然災害に備えた異常危険準備金の追加積立の影響等により、3億円（対前年同期比+9億円）となりました。

### 損益状況

○**資産運用損益**は、利息及び配当金収入の増加や有価証券評価損の減少等により、58億円（対前年同期比+6億円）となりました。

○以上の結果、**経常損益**は、58億円（対前年同期比+15億円）となりました。

○経常損益に特別損益及び法人税等を加減した**当期純損益**は36億円となりました。（対前年同期比+14億円）

### ソルベンシー・マージン比率

○**ソルベンシー・マージン比率**は、有価証券含み益や異常危険準備金の増加、当期純利益の確保等により、1,153.1%（対前年度末比44.2%ポイント増加）となりました。

### ●主要業績・諸指標

単位：百万円

	2019年度 決算	2020年度 決算	増減
元受正味保険料 (増収率)	184,294 (2.9%)	185,484 (0.6%)	1,189 (△2.3%pt)
正味収入保険料 (増収率)	166,660 (3.0%)	166,920 (0.2%)	260 (△2.8%pt)
正味支払保険金 (含む損害調査費)	101,459	98,787	△2,672
正味損害率	60.9%	59.2%	△1.7%pt
正味事業費	62,266	63,628	1,361
正味事業費率	37.4%	38.1%	0.7%pt
収支残	2,934	4,505	1,570
コンバインド・レシオ	98.2%	97.3%	△0.9%pt
<b>保険引受損益</b>	<b>△597</b>	<b>326</b>	<b>924</b>

### (参考)自然災害の影響

単位：百万円

	2019年度 決算	2020年度 決算	増減
正味支払保険金	10,524	9,160	△1,363

### ●損益状況

単位：百万円

	2019年度 決算	2020年度 決算	増減
保険引受損益	△597	326	924
資産運用損益	5,166	5,805	639
経常損益	4,285	5,802	1,517
<b>当期純損益</b>	<b>2,159</b>	<b>3,631</b>	<b>1,472</b>

### ●ソルベンシー・マージン比率等

単位：百万円

	2019年度 決算	2020年度 決算	増減
純資産	106,264	129,086	22,821
<b>ソルベンシー・マージン比率</b>	<b>1,108.9%</b>	<b>1,153.1%</b>	<b>44.2%pt</b>



## 2021年3月期 決算短信（非連結）

2021年5月26日

会社名 共栄火災海上保険株式会社 URL <https://www.kyoeikasai.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 助川 龍二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計グループリーダー (氏名) 遠山 圭介 TEL (03)3504-1006  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

(百万円未満切捨)

### 1. 2021年3月期の業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	166,920	(0.2)	5,802	(35.4)	3,631	(68.2)
2020年3月期	166,660	(3.0)	4,285	(6.8)	2,159	(△14.6)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	正味損害率	正味事業費率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	12,377.90	—	3.1	59.2	38.1
2020年3月期	7,359.25	—	1.9	60.9	37.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	599,724	129,086	21.5	439,953.11
2020年3月期	596,141	106,264	17.8	362,171.44

(参考) 自己資本 2021年3月期 129,086百万円 2020年3月期 106,264百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	1,400.00	1,400.00	410	19.0	0.4
2021年3月期	—	1,400.00	1,400.00	410	11.3	0.3

#### ※ 注記事項

##### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |
|----------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | 有 |
| ④ 修正再表示              | 無 |

##### (2) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |          |          |          |          |
|---------------------|----------|----------|----------|----------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期 | 293,452株 | 2020年3月期 | 293,452株 |
| ② 期末自己株式数           | 2021年3月期 | 43株      | 2020年3月期 | 43株      |
| ③ 期中平均株式数           | 2021年3月期 | 293,409株 | 2020年3月期 | 293,409株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

（退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更）

退職給付引当金の数理計算上の差異の費用処理年数について、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、当事業年度より費用処理年数を11年から10年に変更しております。

この変更により、当事業年度の経常利益及び税引前当期純利益は、それぞれ94百万円減少しております。

## 2020年度 損益状況の対前期比較

(単位:百万円)

科目	年度	2019年度	2020年度	比較増減	増減率
					%
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		188,420	189,399	978	0.5
(元受正味保険料)		(184,294)	(185,484)	(1,189)	(0.6)
経常損益	保険引受収益	182,299	189,966	7,666	4.2
	(うち正味収入保険料)	(166,660)	(166,920)	(260)	(0.2)
	(うち収入積立保険料)	(4,125)	(3,914)	(△210)	(△5.1)
	保険引受費用	153,523	160,186	6,662	4.3
	(うち正味支払保険金)	(91,406)	(88,585)	(△2,821)	(△3.1)
	(うち損害調査費)	(10,052)	(10,202)	(149)	(1.5)
	(うち諸手数料及び集金費)	(33,277)	(34,665)	(1,387)	(4.2)
	(うち満期返戻金)	(18,541)	(26,542)	(8,001)	(43.2)
	資産運用収益	8,265	6,548	△1,716	△20.8
	(うち利息及び配当金収入)	(7,832)	(8,456)	(624)	(8.0)
	(うち有価証券売却益)	(3,408)	(766)	(△2,642)	(△77.5)
	資産運用費用	3,099	743	△2,356	△76.0
	(うち有価証券売却損)	(2,112)	(126)	(△1,985)	(△94.0)
(うち有価証券評価損)	(887)	(466)	(△421)	(△47.5)	
営業費及び一般管理費	29,865	29,863	△1	△0.0	
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(28,988)	(28,962)	(△26)	(△0.1)	
その他経常損益	209	81	△127	△61.1	
経常利益	4,285	5,802	1,517	35.4	
(保険引受利益)	(△597)	(326)	(924)	(-)	
特別損益	特別利益	133	32	△101	△75.7
	特別損失	1,260	1,187	△73	△5.9
	特別損益	△1,127	△1,154	△27	-
税引前当期純利益	3,158	4,648	1,489	47.2	
法人税及び住民税	1,743	2,572	829	47.6	
法人税等調整額	△744	△1,556	△812	-	
法人税等合計	999	1,016	17	1.7	
当期純利益	2,159	3,631	1,472	68.2	
諸比率	正味損害率	60.9%	59.2%		
	正味事業費率	37.4	38.1		
	運用資産利回り(インカム利回り)	1.57	1.73		
	資産運用利回り(実現利回り)	1.65	1.75		

(参考) 時価総合利回り : 2019年度は△2.81%、2020年度は6.64%であります。

(注)

1. 保険引受利益=保険引受収益-(保険引受費用+保険引受に係る営業費及び一般管理費)±その他収支  
なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。
2. 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)/正味収入保険料×100
3. 正味事業費率=(諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費)/正味収入保険料×100
4. 「運用資産利回り」、「資産運用利回り」及び「時価総合利回り」の計算方法は別紙に記載したとおりであります。

<利回りの計算方法>

1. 運用資産利回り（インカム利回り）

資産運用に係る成果を、インカム収入（利息及び配当金収入）の観点から示す指標。

分子は運用資産に係る利息及び配当金収入、分母は取得原価をベースとした利回り。

- ・分子＝利息及び配当金収入（金銭の信託運用益（損）中の利息及び配当金収入に相当する額を含む。）
- ・分母＝取得原価又は償却原価による平均残高

2. 資産運用利回り（実現利回り）

資産運用に係る成果を、当期の期間損益（損益計算書）への寄与の観点から示す指標。

分子は実現損益、分母は取得原価をベースとした利回り。

- ・分子＝資産運用収益＋積立保険料等運用益－資産運用費用
- ・分母＝取得原価又は償却原価による平均残高

3. 時価総合利回り（参考開示）

時価ベースでの運用効率を示す指標。分子は実現損益に加えて時価評価差額の増減を反映させ、分母は時価をベースとした利回り。

- ・分子＝（資産運用収益＋積立保険料等運用益－資産運用費用）  
 ＋（当期末評価差額＊－前期末評価差額＊）＋繰延ヘッジ損益増減
- ・分母＝取得原価又は償却原価による平均残高＋その他有価証券に係る前期末評価差額＊  
 ＋売買目的有価証券に係る前期末評価損益

＊税効果控除前の金額による。

## 種目別保険料・保険金

## 元受正味保険料(除く収入積立保険料)

種目	年度	2019年度			2020年度		
		金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災		35,208	19.1	15.9	36,698	19.8	4.2
海上		2,522	1.4	△6.2	2,430	1.3	△3.7
傷害		31,721	17.2	△0.9	31,942	17.2	0.7
自動車		61,353	33.3	1.2	63,261	34.1	3.1
自動車損害賠償責任		18,984	10.3	0.3	16,136	8.7	△15.0
建物更新		2,458	1.3	△27.2	1,897	1.0	△22.8
その他		32,046	17.4	3.3	33,117	17.9	3.3
合計		184,294	100.0	2.9	185,484	100.0	0.6
(収入積立保険料)		(4,125)	(-)	(△59.9)	(3,914)	(-)	(△5.1)

## 正味収入保険料

種目	年度	2019年度			2020年度		
		金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災		21,634	13.0	23.3	22,035	13.2	1.9
海上		2,276	1.4	△6.1	2,305	1.4	1.3
傷害		30,691	18.4	△1.7	30,779	18.4	0.3
自動車		60,623	36.4	1.1	62,495	37.4	3.1
自動車損害賠償責任		18,799	11.3	2.6	16,274	9.8	△13.4
建物更新		2,082	1.2	△31.4	1,544	0.9	△25.8
その他		30,553	18.3	4.2	31,486	18.9	3.1
合計		166,660	100.0	3.0	166,920	100.0	0.2

## 正味支払保険金

種目	年度	2019年度			2020年度		
		金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災		14,236	△27.9	68.7	14,484	1.7	68.7
海上		1,460	△11.5	67.6	1,576	7.9	72.3
傷害		15,463	△2.5	55.2	14,678	△5.1	52.6
自動車		30,818	△2.1	58.8	29,736	△3.5	55.5
自動車損害賠償責任		12,658	△6.7	73.9	11,595	△8.4	78.3
建物更新		1,736	△56.6	92.1	1,657	△4.5	118.1
その他		15,034	6.5	54.5	14,857	△1.2	52.4
合計		91,406	△9.0	60.9	88,585	△3.1	59.2

(注) 正味損害率は正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	年度	2019年度 (2020年3月31日)		2020年度 (2021年3月31日)		比較増減
		金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)			%		%	
現金及び預貯金		36,950	6.20	26,526	4.42	△10,424
現金		(7)		(5)		
預貯金		(36,943)		(26,520)		
有価証券		448,723	75.27	471,333	78.59	22,609
国債		(211,149)		(199,040)		
地方債		(1,640)		(1,630)		
社債		(76,994)		(71,754)		
株式		(85,877)		(107,587)		
外国証券		(64,023)		(78,509)		
その他の証券		(9,038)		(12,811)		
貸付金		3,884	0.65	3,353	0.56	△531
保険約款貸付		(851)		(714)		
一般貸付		(3,032)		(2,638)		
有形固定資産		48,897	8.20	48,240	8.04	△656
土地		(30,972)		(30,726)		
建物		(16,618)		(16,111)		
建設仮勘定		(23)		(88)		
その他の有形固定資産		(1,283)		(1,313)		
無形固定資産		150	0.03	150	0.03	△0
その他の資産		34,070	5.72	31,671	5.28	△2,399
未収保険料		(506)		(555)		
代理店貸		(14,518)		(14,620)		
共同保険貸		(706)		(646)		
再保険貸		(7,790)		(6,770)		
外国再保険貸		(3,221)		(2,619)		
未収金		(2,788)		(2,436)		
未収収益		(840)		(836)		
預託金		(826)		(804)		
地震保険預託金		(71)		(81)		
仮払金		(2,801)		(2,299)		
前払年金費用		2,037	0.34	2,625	0.44	588
繰延税金資産		21,600	3.62	15,989	2.67	△5,611
貸倒引当金		△174	△0.03	△165	△0.03	8
資産の部合計		596,141	100.00	599,724	100.00	3,583



(単位:百万円)

科目	2019年度 (2020年3月31日)		2020年度 (2021年3月31日)		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	
		%		%	
(負債の部)					
保険契約準備金	456,210	76.53	439,816	73.34	△16,394
支払備金	(59,988)		(59,449)		
責任準備金	(396,221)		(380,366)		
その他の負債	18,842	3.16	15,513	2.59	△3,328
共同保険借	(317)		(375)		
再保険借	(5,638)		(5,341)		
外国再保険借	(1,638)		(1,078)		
債券貸借取引受入担保金	(5,104)		(—)		
未払法人税等	(457)		(1,858)		
預り金	(503)		(487)		
前受収益	(2)		(1)		
未払金	(3,338)		(4,116)		
仮受金	(1,615)		(2,020)		
資産除去債務	(227)		(233)		
退職給付引当金	7,808	1.31	7,724	1.29	△84
役員退職慰労引当金	221	0.04	135	0.02	△85
特別法上の準備金	3,572	0.60	4,258	0.71	686
価格変動準備金	(3,572)		(4,258)		
再評価に係る繰延税金負債	3,221	0.54	3,189	0.53	△31
負債の部合計	489,877	82.18	470,638	78.48	△19,238
(純資産の部)					
資本金	52,500	8.80	52,500	8.75	—
資本剰余金	12,559	2.11	12,559	2.09	—
資本準備金	(12,559)		(12,559)		
利益剰余金	13,190	2.21	16,371	2.73	3,181
利益準備金	(3,116)		(3,198)		
その他利益剰余金	(10,074)		(13,173)		
(特別危険準備金)	((4,000))		((4,000))		
(繰越利益剰余金)	((6,074))		((9,173))		
自己株式	△8	△0.00	△8	△0.00	—
株主資本合計	78,242	13.12	81,423	13.57	3,181
その他有価証券評価差額金	31,286	5.25	50,887	8.49	19,600
土地再評価差額金	△3,264	△0.55	△3,224	△0.54	39
評価・換算差額等合計	28,022	4.70	47,663	7.95	19,640
純資産の部合計	106,264	17.82	129,086	21.52	22,821
負債及び純資産の部合計	596,141	100.00	599,724	100.00	3,583

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	年度	2019年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	2020年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	比較増減
<b>経常収益</b>		<b>190,832</b>	<b>196,672</b>	<b>5,840</b>
保険引受収益		182,299	189,966	7,666
正味収入保険料		166,660	166,920	260
収入積立保険料		4,125	3,914	△210
積立保険料等運用益		3,074	2,733	△340
支払備金戻入額		374	538	164
責任準備金戻入額		8,057	15,855	7,797
為替差益		—	2	2
その他保険引受収益		7	—	△7
資産運用収益		8,265	6,548	△1,716
利息及び配当金収入		7,832	8,456	624
有価証券売却益		3,408	766	△2,642
有価証券償還益		42	42	△0
金融派生商品収益		52	—	△52
為替差益		3	16	13
その他運用収益		1	0	△0
積立保険料等運用益振替		△3,074	△2,733	340
その他経常収益		267	157	△109
<b>経常費用</b>		<b>186,546</b>	<b>190,870</b>	<b>4,323</b>
保険引受費用		153,523	160,186	6,662
正味支払保険金		91,406	88,585	△2,821
損害調査費		10,052	10,202	149
諸手数料及び集金費		33,277	34,665	1,387
満期返戻金		18,541	26,542	8,001
契約者配当金		1	0	△0
為替差損		0	—	△0
その他保険引受費用		243	189	△53
資産運用費用		3,099	743	△2,356
有価証券売却損		2,112	126	△1,985
有価証券評価損		887	466	△421
有価証券償還損		84	135	50
その他運用費用		15	15	0
営業費及び一般管理費		29,865	29,863	△1
その他経常費用		58	76	18
支払利息		1	1	0
貸倒引当金繰入額		7	—	△7
貸倒損		—	0	0
その他の経常費用		48	73	24
<b>経常利益</b>		<b>4,285</b>	<b>5,802</b>	<b>1,517</b>
<b>特別利益</b>		<b>133</b>	<b>32</b>	<b>△101</b>
固定資産処分益		133	32	△101
<b>特別損失</b>		<b>1,260</b>	<b>1,187</b>	<b>△73</b>
固定資産処分損失		131	110	△21
減損損失		313	390	76
特別法上の準備金繰入額		437	686	248
価格変動準備金		(437)	(686)	(248)
不動産圧縮損		108	—	△108
その他特別損失		270	—	△270
<b>税引前当期純利益</b>		<b>3,158</b>	<b>4,648</b>	<b>1,489</b>
法人税及び住民税		1,743	2,572	829
法人税等調整額		△744	△1,556	△812
法人税等合計		999	1,016	17
<b>当期純利益</b>		<b>2,159</b>	<b>3,631</b>	<b>1,472</b>

## 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計	
					特別危険 準備金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	52,500	12,559	12,559	3,116	4,000	6,074	13,190	△8	78,242
当期変動額									
剰余金の配当				82		△492	△410		△410
当期純利益						3,631	3,631		3,631
土地再評価差額 金の取崩						△39	△39		△39
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	82	—	3,098	3,181	—	3,181
当期末残高	52,500	12,559	12,559	3,198	4,000	9,173	16,371	△8	81,423

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	31,286	△3,264	28,022	106,264
当期変動額				
剰余金の配当				△410
当期純利益				3,631
土地再評価差額 金の取崩				△39
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	19,600	39	19,640	19,640
当期変動額合計	19,600	39	19,640	22,821
当期末残高	50,887	△3,224	47,663	129,086

## 有 価 証 券

## 1. 売買目的有価証券

該当事項はありません。

## 2. 満期保有目的の債券

該当事項はありません。

## 3. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式47百万円、当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式47百万円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価及び時価と貸借対照表計上額との差額を記載しておりません。

## 4. その他有価証券

前事業年度(2020年3月31日)

(単位:百万円)

	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの	公社債	265,868	252,968	12,899
	株式	69,817	36,667	33,150
	外国証券	22,501	20,897	1,603
	その他	5,501	4,130	1,370
	小計	363,688	314,664	49,024
貸借対照表計上額が取得原価 を超えないもの	公社債	23,916	24,022	△106
	株式	9,097	10,960	△1,862
	外国証券	41,522	45,563	△4,041
	その他	2,490	2,720	△229
	小計	77,027	83,266	△6,239
合計		440,716	397,931	42,784

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

当事業年度(2021年3月31日)

(単位:百万円)

	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの	公社債	248,023	237,783	10,240
	株式	98,334	45,597	52,737
	外国証券	62,527	57,950	4,577
	その他	11,136	8,271	2,865
	小計	420,021	349,602	70,419
貸借対照表計上額が取得原価 を超えないもの	公社債	24,401	24,508	△106
	株式	2,301	2,604	△302
	外国証券	15,981	16,427	△445
	その他	456	500	△43
	小計	43,140	44,039	△898
合計		463,162	393,641	69,521

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券は、上表に含めておりません。

## 5. 売却したその他有価証券

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

種類	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額
公社債	6,270	9	145
株式	5,684	3,048	503
外国証券	8,496	209	1,050
その他	1,539	141	412
合計	21,991	3,408	2,112

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

種類	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額
公社債	15,293	17	15
株式	1,475	747	46
外国証券	1,763	0	64
その他	—	—	—
合計	18,532	766	126

## 単体ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円、%)

	2019年度末 (2020年3月31日)	2020年度末 (2021年3月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	194,834	227,896
資本金又は基金等	77,831	81,012
価格変動準備金	3,572	4,258
危険準備金	—	8
異常危険準備金	68,696	72,040
一般貸倒引当金	0	0
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	38,506	62,569
土地の含み損益	3,775	4,446
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	2,462	2,462
その他	4,914	6,023
(B) 単体リスクの合計額	35,138	39,524
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク (R <sub>1</sub> )	14,285	14,684
第三分野保険の保険リスク (R <sub>2</sub> )	—	—
予定利率リスク (R <sub>3</sub> )	1,276	1,172
資産運用リスク (R <sub>4</sub> )	23,115	28,060
経営管理リスク (R <sub>5</sub> )	893	994
巨大災害リスク (R <sub>6</sub> )	5,977	5,815
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率	1,108.9	1,153.1
$[(A) / \{(B) \times 1 / 2\}] \times 100$		

※ 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条(単体ソルベンシー・マージン)及び第87条(単体リスク)並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率であります。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・この「通常の予測を超える危険」に対して「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 

① 保険引受上の危険 (一般保険リスク) (第三分野保険の保険リスク)	: 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く。）
② 予定利率上の危険 (予定利率リスク)	: 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
③ 資産運用上の危険 (資産運用リスク)	: 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
④ 経営管理上の危険 (経営管理リスク)	: 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
⑤ 巨大災害に係る危険 (巨大災害リスク)	: 通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み損益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。